歳入総額 196 億3,114万2千円

その他の交付金(5.9%) 11億6,801万8千円 市債(3.5%) 国などが必要に応じて課税した一部(地方消費税など)が配分されたお金 6億9.551万5千円 国や金融機関などから借入れたお金 市税 (22.4%) 43 億 9,496 万 2 千円 県支出金(7.7%) 市民の皆さんが納めたお金 15 億 2,057 万 7 千円 市の事業に対して県から交付 分担金および負担金(0.7%) されたお金 1億3,297万4千円 こども園料や小中学校の給食費など、 特定の利益を受ける人が負担したお金 国庫支出金(13.2%) 25 億 8,472 万 3 千円 自主財源 使用料および手数料(0.9%) 依存財源 市の事業に対して国から 52.5% 47.5% 1億8,111万7千円 交付されたお金 施設の使用料や住民票の発行手数料など 繰越金(5.3%) 10 億 3,882 万 8 千円 前年度から繰り越されたお金 地方譲与税(0.7%) 1億4,089万4千円 諸収入(4.2%) 国が徴収した自動車重量税 8億2,066万8千円 などから配分されたお金 貸付金の元金収入など 繰入金など(14%) 地方交付税 (21.5%) 27 億 3,869 万 2 千円 42 億 1,417 万 4 千円

市有地などの貸付料や寄付金、

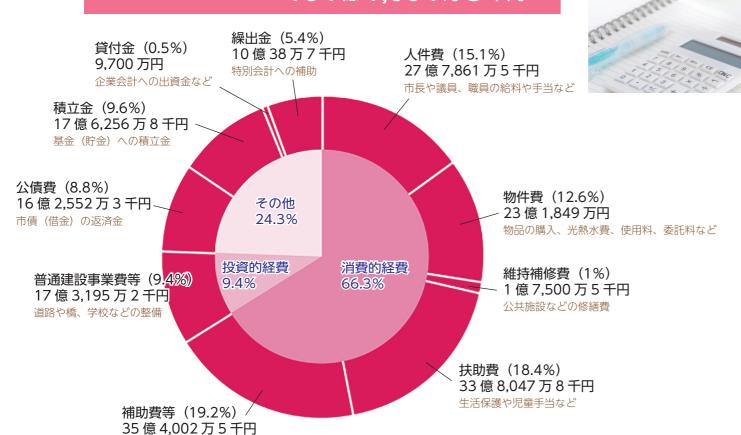
基金 (貯金) を取り崩したお金など

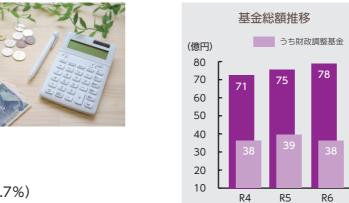
歳出総額(性質別) 184億1,004万3千円

市町村の規模に応じて国から

交付されたお金

負担金や補助金など







16種類の基金(貯金)があり、総額は約7億円となっています。 おっち48・3%を占めるのが、 市の財政をやりくりするための 市の財政をやりくりするための おっち48・3%を占めるのが、 しています。 新年度と比較して、一般会計で約8億8,000万円、その他約8億8,000万円、その他の会計で約2億6,000万円 減少しています。 長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を求めることで世代間の公平性を求めることで世代間の公平性を

借金 市債残高

市

の

基金残高

と比較して増加

しました。

出

るさとあわらサポー Mなどにより、 般会計の歳⊼ の決算額は、 入の 前年度と比較し入の決算額は、 定額減税調整給付金支給事業の ト基金事業の増額などにより、 して増加しました。 るさと納税による寄附金の 実施や、

令和6

年度

☎ 財問 7 政課 3 課

8

Ŏ

0

約254億3,000万円です。市の借金である市債の現在高は

一般会計歳出決算額 **184 億** 1,004万3千円 (対前年度比 11.8%増)

一般会計歳入決算額 196億3,114万2千円 (対前年度比 12.2%増)

各会計の決算額(単位: 千円)

			歳入総額 A	歳出総額 B	差 引 C=A-B	繰越すべき財源 D	実質収支 C-D
一般会計	† (市の基本的な行政サービスにかかる経費を収支する会計)		19,631,142	18,410,043	1,221,099	110,139	1,110,960
特別会計((保険料などの特定の収入を特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは区別されています。)					,)	
	国民健康保険特別会計		2,874,757	2,755,232	119,525	0	119,525
	後期高齢者医療特別会計		467,695	466,333	1,362	0	1,362
	農業者労働災害共済特別会計		2,205	1,240	965	0	965
	公共用地先行取得事業特別会計		1,029,716	1,029,716	0	0	0
企業会計	一般の会社と同じように、独立した収入で経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)				計)	繰越額	
	水道事業会計	収益的収支	833,445	744,537	88,908	0	
		資本的収支	152,299	381,834	△ 229,535	51,960	
	公共下水道事業会計	収益的収支	1,204,840	1,122,328	82,512	0	
		資本的収支	580,841	968,371	△ 387,530	206,048	